

SASA YAMA LOVE YOU
50

笑顔～はばたこう未来へ～ ささよう創立50周年

子どもたちの明るい未来を信じて、小さな一歩を積み重ねてきた篠山養護学校(ささよう)。一人ひとりが輝く存在であってほしい、多くの方の支えや励ましの中、たくさんの卒業生を輩出してきました。今回は創立50周年を迎えた「ささよう」についてお伝えします。



イラストやタイトルの筆文字、キャッチフレーズも、みんなで考え制作しました。運動会では、みんなで空撮記念写真を撮って50周年を祝いました。



沿革

- 昭和49年 篠山町立篠山養護学校創立
- 昭和50年 中学部を開設
- 昭和51年 幼稚部を開設
- 平成5年 校舎新築工事着工
- 平成6年 校舎竣工、移転
高等部を開設
創立20周年記念行事実施
- 平成8年 高等部最初の卒業生が企業などへ就職
- 平成9年 医療的ケアのために看護師を配置
- 平成16年 創立30周年記念行事実施
- 平成19年 特別支援教育のセンター校的役割を担うため支援部を設置
看護師2人を配置
- 平成24年 医療的ケアルーム改築
- 平成26年 創立40周年記念行事実施
- 平成28年 知肢併置学校に
- 平成31年 早期発達支援室を設置
- 令和6年 創立50周年記念事業実施

わがよりの歩み
昭和49年、篠山小学校の一角に併設創立された「篠山養護学校」。支援を必要とする4歳から18歳までの子どもたちが通う学校、愛称「ささよう」として成長を続けてきました。
平成6年の20周年を迎える年に、今の校舎に移転。平成19年には、「特殊教育」から「特別支援教育」と称され、ささようは、特別支援教育に関する指導や支援の相談、研修の場を提供し、教職員の専門性の向上を図るなど地域の中心的な役割を担ってききました。
子どもたちの交流活動も以前から積極的に進めており、令和5年度からは、副籍(※1)を生かした居住地交流を行うなど、地域とのつながりの維持・継続を図っています。そして、子どもたちが相互理解を深め、互いに支え合うことで「共生社会の実現をめざし、子どもたちの自立と社会参加を見据えた、教育活動を推進しています。

明るくいきいきわがよりの歩み
教師として10年、教頭として3年ささように勤務し、今回3度目の着任となります。久しぶりに故郷に帰ってきたような、アットホームであたたかい空気に包まれ、やっぱり「ささよう」はいいなあという気持ちです。今年度の教育目標と希望を抱いて心豊かにたくましく生きる子の育成(明るくいきいき)のもと、子どものできる力、分ける力を信じ、先生たちの豊富なアイデアで、子どもたちの自主性を育てています。子どもたちのささようでの経験や学び、友達や先生とのふれあいを通じて、成長や発達を続けていきます。
笑顔の絶えない元気で明るい学校です。



ささよう50周年に寄せて 子どもたちのメッセージ



「できる」がたくさん!いろいろな挑戦ができる場所
ささようは、現在60人で一緒に学校生活を過ごしています。私は恥ずかしがり屋だけど生徒会長になり、人前で話すことに挑戦しています。
学校では違う学年の子と交流することができ、小さな子どもたちと遊ぶ時間がとても楽しいです。プールではクロールを泳げるようになりました。これからできることを少しずつ増やし、いろんなことに挑戦したいです。

高等部3年生 生徒会長 穴瀬心美さん

社会参加への第一歩
卒業後の自立と社会参加をめざし、働く力や生活力を高めるために、高等部では企業・事業所の協力を得て、3年間で6回の「現場・施設実習」をしています。子どもたちは経験を重ねるごとに自信をつけ、さらにそれぞれ目標を作り、チャレンジしています。進路フォーラムでは、自分たちの経験を発表し、保護者の感心を高めています。社会と生徒たちのつながり深めて子どもたちの未来をつくっています。

篠山養護学校 教育支援部 進路担当 大島康則さん

在校生の皆さんへ
ささよう卒業生として
ささようでは、社会人になるために時間を守る大切さをしっかり教わりました。卒業後は、スマイルささやまでパンの販売などを行っています。社会人になって仕事をしてお給料をもらい、自分の好きなものを買うことができうれしいです。でも、仕事は楽しいだけではなく、体力が必要です。ささよりの皆さん、しっかり体力をつけて、社会に出て活躍してください。

山内康晟さん

ささよりのみんなを応援しています
ふれあいセンターでは、ささよりの卒業生をはじめ、障がいのある方が働いています。一人ひとりがそれぞれの役割を持ち、ときにはお互い支え合い、明るくいきいきと仕事をしています。社会人となり、新しい環境に不安が見えることもありますが、サポート職員も働く先輩たちもみんなで見守り応援しています。自信を持って社会の一歩を進んでください。

社会福祉法人 わかたけ福祉会 丹波篠山市障害者総合支援センター 施設長 原田早苗さん

みんなの力が集まれば笑顔も100倍!
畑弘恵さん

誰一人取り残さない心の学び場
「特別」ではなく「個性」。子どもたちはそれぞれの個性を受け入れ、協力しながら楽しく学校生活を過ごしています。私たちも地域社会の一人として、思いやりをもってそれぞれの個性を尊重することが大切だと改めて感じました。ささようは50年の時を経て、多くの人の思いやりと頑張りで自立支援の輪も大きく広がりました。子どもたちが夢や希望を持って歩んでいけるよう、誰一人取り残さない、生きていくための心の学び場が「ささよう」です。

ささよう展 ぜひお越しください!
11月2日(土)～8日(金) @中央図書館
11月11日(月)～14日(木) @篠山養護学校
PTAバザー (ふるさと農業まつり内)
11月23日(土・祝) @大手前南駐車場

※1 特別支援学校と、居住する地域の小・中学校に副次的な籍をもつこと。